

(福) ケアハウス信愛館

今夏の連日の猛暑は高齢者にとっては厳しいものとなりました。水分摂取、エアコンの温度設定、衣服の調節など様々な工夫をもってしても対処仕切れない程の暑さに翻弄された上に台風も例年より多く襲来し、その対策にも追われ、これまでに経験したことのない夏でした。しかしあらゆる場面で入居者皆様の協力があったお蔭で、大過なく秋を迎えることができ、皆様方の思いやりに感謝しています。

信愛館では月一回「俳句会」が行われています。八月例会で皆様が詠まれた句です。
西瓜割りかぶりつく子の笑顔かな めぐみ
短冊に願ひごとなし星祭り こう児
炎天の瓦職人黙だ深し 久美
四夜つづく郡上踊りや下駄の音 緋美
朝顔の咲きし一輪愛でて見る しげを
たそがれの蘆のざわめき秋思ふ つゆ草
◆七月二十三日(月)「避難訓練」が行われました。今回は夜間の火災を想定し、高齢



者故に必要なことを前もって検討し実施しました。職員が消防署へ通報する訓練から始め、サイレンが鳴ってから最後に食堂に集合するまでの所要時間を計りました。懐中電灯や帽子、タオルを持つての移動でしたが速やかに行動され、入居者からは「訓練慣れに気をつけなければ」と言った貴重な意見も聞かれた有意義な訓練でした。

◆七月二十五日(水)「夏まつり」が昼食時に行われました。たこ焼き、サンドイッチ、

天ぷら、おでん、アイスクリームなど、江州音頭が流れる中バイキング形式で好きな物を好きなだけ召し上がり「もうお腹一杯」「アイスをもう少しだけ」など皆様、笑顔・笑顔。食後は職員によるピアノとバイオリンの合奏を楽しんでいただきました。

◆七月二十八日(土)びわこシャロームチャペルコンサートがありました。昨年に続き中澤旨宣さんの指揮で「夏の思い出」「幸せなら手をたたこう」「琵琶湖周航の歌」「一人のちいさな手」などを合唱されました。中澤さんの指揮ぶりからは「音楽が大好き」の気持ち伝わり、入居者も一緒に歌われていました。また桶田牧師からは、「二人一人が尊い力を合わせれば何でもできる、皆様の輝く生涯を祈ります」との言葉がありました。

人々のちいさな手」などを合唱されました。中澤さんの指揮ぶりからは「音楽が大好き」の気持ち伝わり、入居者も一緒に歌われていました。また桶田牧師からは、「二人一人が尊い力を合わせれば何でもできる、皆様の輝く生涯を祈ります」との言葉がありました。